日本災害看護学会 令和６年能登半島地震活動報告

2024 年 2 月 8 日（木）

活動隊員：（午前）渡辺康人、藤原真由、加藤鮎美

（午後）増野園惠、藤田さやか

１．活動日時

2024 年 2 月8日(木)0 時～24 時

２．活動場所

珠洲市立大谷小中学校（石川県珠洲市大谷町 1 字 78 番地）

避難所使用者数 33 人（一時避難者あり） 20 世帯

３．石川県の被害状況（2 月 8 日 14:00 時点　内閣府情報）

人的被害　死者：241 人　負傷者：1,182 人

住家被害　全壊・半壊・一部損壊：18,478 棟

４．天候（2 月 8 日時点　NHK ニュース）

曇り　最高気温 6℃　最低気温 1℃

５．活動の実際

2:00　巡視

4:00　巡視

5:00　救護班エリアにて記録物確認、ホットタオル配布

7:00　起床 ホットタオル配布　検温　健康状態の聞き取り

7:30　朝食（配膳・下膳）

8:00　珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00　ラジオ体操　換気

環境整備（床掃除：モップ、掃除機、キッズスペースの拭き掃除）

10:00　JMAT に高血圧の方について電話相談

11:00　学校職員の体調確認。

在宅避難者訪問、情報収集。

11:15　体調不良の 10 才男児の対応。

11:30　赤十字奉仕団能美地区から支援物資供給、保湿剤や手鏡の依頼。

ドライヤー・化粧スペース作成。住民の方にご確認いただく。

12:30　後続隊へ申し送り

12:00　昼食（配膳・下膳）

14:30　JMAT 診療 1 名（内服処方）

15:30　足浴 1 名、換気

17:00　珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00　夕食（配膳、下膳）

19:00　大谷小中学校本部関係者 meeting、換気

21:00　消灯、適宜対応

22:00　記録

６．支援活動と課題

【被災者への生活支援と健康支援】

- 避難所では避難者の勤務、入浴や洗濯、一時退所など健康状態の把握が難しいため、県外支援者が日々作成する避難者レイアウトに併せて、体温表を作成した。健康状態に注意が必要な者、巡回診療の対象者について、体温表を見てわかるよう記載し、後発隊に申し送りをした。
- 朝 7 時の検温の際、地震前に降圧剤内服を医師の指示でやめた避難者の一人（男性高齢者；B 氏）が Bp:194/129mmHg（再検 200/124mmHg）、自覚症状はなし。8 時の珠洲市保健医療調整本部会議にて診療依頼し、本日 JMAT の診察の調整を依頼した。14:30 頃 JMAT の訪問あり、B 氏の情報（名前、年齢、既往歴、現病歴、内服歴）を共有した。診察後、2 週間分の内服薬が処方された。本人に血圧手帳を渡し、毎朝夕に測定する習慣をつけることをお伝えした（救護班エリアにて測定）。
- 昨日対応した学校職員の体調確認。Bp:118/70mmHg、PR:75 回/分、BT:36.8℃。昨日終業後、自宅にてゆっくり休めたとのこと。熟眠感あり、本朝食事も取れている。頭痛・嘔気なし。今後も体調・精神面で気になることがあれば、いつでも相談するようにお伝えした。本日、常用薬が届く予定。
- 学校から 10 才男児の頭痛の相談。嘔気・嘔吐なし。「普段もたまに痛くなる。ちょっと横になったらましになる。」と話す。めまい、しびれなし。BT36.4℃、PR:78 回/分、Bp115/78mmHg。保健室で 10 分程過ごしてもらい症状改善する。再度体調不良があれば救護班エリアに来てもらうよう説明し、授業に戻る。
- 集会所に避難をされている方が、2 戸孤立している家族について避難所責任者に相談に来られた。孤立している在宅避難者の食事は、アルファ米のみで塩分過多になってしまっている。
- 本日、自衛隊入浴の希望者が多いためにキャンセルとなり、入浴できなかった避難者（男性：C 氏・心不全）が、保清ができておらず、下肢の浮腫も増強しているため、足浴を実施した。避難所でケアが受けられると思っておらず、大変喜ばれる様子があった。土曜日に自衛隊入浴ができるように調整依頼をした。
- ドライヤーが届いたため、ドライヤー・パウダールームを設置した。
- 避難所運営責任者の疲労感が強い様子で、血圧測定をし、お話を傾聴した。

【課題】

- 避難者は仕事や生活のために職場や自宅、近隣県を往復する状態であり、健康状態を、個別にアセスメントしていく必要がある。
- 避難所内避難計画について（想定は地震と津波、火事。役割、避難経路、救護班の避難時持ち出し物品の内容）は避難所運営メンバーを交えて検討が必要である。

【活動の様子】